



セネガルの子どもたちに教育を！

バオバブの会 ニュースレター

2014年 No.6
(通巻37号)
12月22日発行



2014年も残りわずかとなり、皆様方には、何かとお忙しくお過ごしのことと思います。今年度最後のニュースレターは、秋・冬のイベント報告を中心にお届けいたします。お陰様で、バオバブの会は、今年度も多彩な活動を展開することができました。来年度も、より一層のご理解、ご協力をいただきますよう、宜しく願い申し上げます。今年の冬は、例年になく寒さが厳しいようです。どうか、体調に気をつけられ、お元気で新年をお迎えください。

★★★ 活動報告 ★★★

★★★ よこはま国際フェスタ <http://yokohama-c-festa.org/> 報告 ★★★
(文： 柳田)

日時：2014年10月18日(土)・19日(日) 10:30～16:00

会場：象の鼻パーク

主催：よこはま国際協力・国際交流プラットフォーム運営委員会
よこはま国際フェスタ 2014 プロジェクト

国際協力や国際交流に携わる団体が集まり、アフリカ、アジア、中南米などの世界各地の文化に、食やものやライブを通して触れられる恒例の国際フェスタ。

バオバブの会は今年も料理をはじめ、セネガルの布バッグやポーチ、絵本、小物などを販売しました。

両日とも晴天に恵まれて来場者の数も多く、バオバブの会も食販に長い行列ができるほどの大繁盛。メニューはヤーサ（レモンの酸味がきいたチキンシチュー）とマーフェ（トマトとピーナッツソースのビーフシチュー）のサンドイッチ、揚げたてのベニエ（西アフリカのドーナッツ）、そしてアターヤ（セネガル式ミントティー）。料理もおやつも、お昼過ぎには完売となりました。

※セネガルでの発音により近づけるため、今回から「ヤッサ」を「ヤーサ」に、「マフェ」を「マーフェ」に変更しました。

★★★ 福引き 2014 報告 ★★★

(文：田口)

募金活動の一環として、隔年で行っています「福引き」も本年度で7回目となりました。10月初旬から福引きチケットの発売を行い、12月7日の抽選当日までに、200枚を販売することができました。ご協力、心より御礼申し上げます。

「福引き」の締めくくりとして、12月7日(日)12:30~14:30、東中野の Coupe Café にて「バオバブパーティー」を行いました。当初の予想を上回る44人(子ども3人含む)もの皆さんにご参加いただいて、大変にぎやかで楽しいイベントとなりました。

パーティーは次々にご来場される皆さんで会場がいっぱいになる中、30分近く遅れてディウフ会長の挨拶とともに食事がスタート。会長と友人のアブドゥ・ンジャイさんによるチェブヤップ(セネガルの炊き込みご飯)が大皿に豪快に盛りつけられて運ばれると、各テーブルで歓声があがりました。セネガル式に大皿から手で食べるコツをディウフ会長が説明。器用に食べている方もたくさんいらっしゃいました。

皆さんのお腹が落ち着いたタイミングで、柳田副会長によるセミナーを開始。「音楽でめぐるアフリカ大陸」と題して、映像と音楽をメインに、日本では普段触れる機会が少ない“今”のアフリカの音楽シーンを紹介しました。その後、ディウフ会長から2013~2014年にかけての活動報告をダイジェストで行い、新たに支援を開始した学校を紹介しました。

そして、いよいよ福引き抽選!! 沢山の魅力的な賞品を前に、厳正かつ楽しく行われました。なんと、家族3人が全て当たり!というクジ運の強いご一家もありました。(賞品の詳細は*の賞品と当選人数をご覧ください)

最後は、アフリカン&ゴスペルユニット「ドームウェイ(ウオロフ語で“歌の種”の意味)」(メンバー:かおるん、ぽこさん、ババさん、運営委員田口)によるミニライブ。曲目は「Bara」「This Is The Day~Seasons of Love」「Shinte」「Khunbaya」「Bara(ボンガバージュン)」の5曲。ジェンベ、ドゥンドゥン等の太鼓やバラフォン(木琴)、カマレンゴニ(弦楽器)等のアフリカの楽器の演奏と歌で(会場からの飛び入り演奏もあり!)おおいに盛り上がりました。

また、今回は初の試みとして、アフリカグッズのミニバザーコーナーを併設しました。アフリカの衣類、雑貨、CD、DVD、本、雑誌等、多数の持ち寄りがありましたが、パーティー開始早々から売約済みの札が貼られる程の人気の、ほぼ完売となりました。14,000円の売上金は、セネガルの子どもたちへの教育支援金とさせていただきます。

今回のセネガル料理は“チェブヤップ” ↓



ドームウェイのミニライブ ↓



*賞品と当選人数

等	賞品名	数	等	賞品名	数
1	ジャンベ	1	10	ネックレス	2
2	シェケレ	1	11	ボールペン	10
3	ケベサック (大)	6	12	キーホルダー	10
4	ケベサック (タイランド)	6	13	コースター	10
5	ケベサック (小)	3	14	CD/DVD	3
6	ケベサック (角)	3	15	絵本「こころのくだもの」	3
7	ポーチ (大)	4	16	絵本「森は、どこにあるの？」	3
8	ポーチ(中)	4	17	バオバブソープ	3
9	ポーチ (小)	4	ファンケル	さんみ塩	3
			賞	発芽玄米	3

等外の「テランガ賞」は、「ポストカードセット」(会員の和田さんによるイラストとセネガルの子供たちの写真の2枚組)、「マグネット」、「しおり&クリップ」のうち1点です。

また、パーティーの参加者全員に、お土産として「ポストカードセット」をお渡ししました。

★★★★ ことわざで開く、アフリカ文化の窓 ★★★★★
 第17回 「ことわざクイズ このことわざのテーマは何でしょう？」

エル・ハッジ・マサンバ ディウフ

(訳・文責 水野)

皆様とのコミュニケーションの手段であるニューズレターを、私たちはいつも、読んでいただいて楽しいもの、または少なくとも退屈しないものにしたいと思っています。2011年の最終号からこのことわざのコーナーを始めたのもそのためでした。アフリカの人々の間に伝わり、現在も使われている様々なことわざを、健康、許し、外国人、きづな、一夫多妻などのテーマにそって、解説を加えながら紹介してきました。

今回は、少し趣向を変えて、クイズを作ってみました。下記の表には、11個のことわざと3つのテーマが並んでいます。皆様は、それぞれのことわざがどのテーマにあてはまるのかを考えて、チェックしてください。すると、最後に、どのテーマについてのことわざが一番多いのかがわかるでしょう。次号では、その解説をいたします。

♥ テーマ

A：人間または動物の体が、それぞれの部分が補い合うことで、完璧なものになっていること。

B：連帯の力、また、連帯のすすめ。

C：同情、分け合うこと、また、助け合いのすすめ。

♥ 1つのテーマだけにチェックを入れるとは限りません。2つ、または3つのテーマにチェックを入れても構いません。

	ことわざ	使っている人々	A	B	C
1	1本の指だけで、皿の肉をつまむことはできない。注1	カメルーンのパムーンの人々			
2	1本の指だけで、落花生の殻を割ることはできない。注2	カメルーンのパミレケの人々			
3	1本の指だけで、顔は洗えない。	ガボンのファンの人々			
4	1本の指だけで、背中に薬を塗ることはできない。	ガボンのアンベデの人々			
5	片方の手で、もう一つの手を洗う。	ギニアのマンディングの人々			
6	ひとつの腕輪だけで、音はたてられない。注2	コンゴ民主共和国のテテラの人々			

7	1本の薪では、煙はたっても火はおこせない。	エチオピアのガラの 人々			
8	涙が出ると、鼻水も垂れる。	エチオピアのガラの 人々			
9	上あごと下あごが出会えば、骨をも砕く。	ウガンダのルンヨロ の人々			
10	人を育て上げるのは、ふたつの乳房。	カメルーンのベチの 人々			
11	動物は木にこすりつけて背中を搔くが、人は家 族に「搔いて！」と頼む。	ナイジェリアのヨル バの人々			
	集 計 チェックの数を合計してください。 →				

注1 今日、世界中で、食事の際にはフォークやナイフやスプーンといった道具が使われるようになりました。アフリカも例外ではありません。日本の食卓で、時には箸の傍らに、または箸の代わりにそれらが置かれるように、アフリカの家庭でも使われています。しかし、先日のバオバブパーティーの際にも紹介したように、アフリカの多くの社会では、“手で食べる”伝統が残っています。

注2 皆さんは、落花生の殻を片手で割ろうとしたことはないでしょうか？ もしなかったら、一度、やってみてください。はいはい、わかっていますよ。このことわざは、<1本の指だけで>と言っています。私が<片手で>と言うのは、1本の指ではもちろんできないが、片手の5本の指を使ったとしても、誰でもができることではない、ということをお願いからです。もっとも、それは落花生の種類にもよりますが。種類によって、殻の大きさや固さが異なりますので。

注3 アフリカの女性は、しばしば、金や銀の細い腕輪を何本も身に着けます。すると、それらは、腕の動きに連れて音をたてます。その音は、草花や樹木から作られたお香の香りと共に、優雅で女性的な魅力を引き立てます。衣服の下、腰のまわりに、ビンビンと呼ばれるビーズなどの鎖を巻くこともあります。これがたてる音もなかなか素敵です。



★★★ 今後の活動について ★★★

★「よこはま国際フォーラム2015」参加

2015年2月7日(土)8日(日) JICA 横浜

バオバブの会は、8日の午後、ディウフ会長と柳田副会長によるセミナーを行う予定です。

* 詳細は次号

★「2015年度年次総会」

2015年3月1日(日) ほどがや市民活動センターアワーズ

★「セネガル物語2015」参加

2015年3月7日(土) 開催予定

* 詳細は次号

★★★ お知らせ ★★★

チャリティーコンサート 「DREAM FOR WORLD CHILDREN」

日時：2015年1月18日(日) 13:30~16:00 (開場13:00)

会場：横浜健康福祉総合センター4階ホール

主催：特活「ハイチの会セスラ」

ロス・アンダンテス (ラテンアフリカの視覚障害者と歩む会)

出演：矢野ブラザーズ (マイケル・ディビッド・三四郎)

シェロ・アスール 南米のフォルクローレアンサンブル

入場料：2,500円 (小学生500円)

*休憩時間にハイチ、ペルーの特産品の販売があります。

お問い合わせ 045-622-2827

Email: contact@haitinokai-cesla.com

バオバブの会

〒240-0052 神奈川県横浜市保土ヶ谷区西谷町993-35

TEL&FAX 045-373-0059 HP:<http://the-baobab.org>

代表 エル・ハッジ・マサンバ ディウフ

寄付振込先:

三菱東京UFJ銀行八重洲通り支店普通口座no.1523673

ゆうちょ銀行振替口座 00200=1 45215